



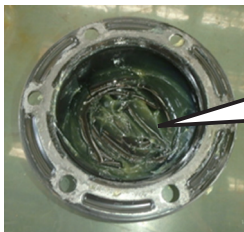
テクニカル・メッセージ

ハブベアリングのグリースの充てんについて

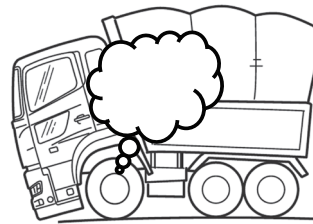
ハブベアリング分解整備のグリース給脂時に、充てんが不足していたり、グリースに水分が含まれているとハブベアリングが焼き付き、発煙や火災等の重大事故につながるおそれがあります。グリース給脂する際は、適正な箇所と量を充てんし、水分が入らないようお願い致します。

■ 対象車型

日野トラック・バス



グリース充てん量
が少ない



発煙や火災となるおそれがあります

■ ベアリンググリースの充てんについて

本写真は大型トラックを参考に紹介させていただきます。

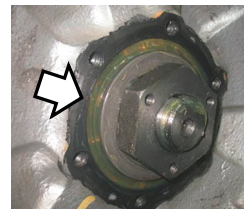
＜フロントハブベアリング＞ 指定グリース：日野純正ブルーリボンベアリンググリース



- ・コロの端部が隠れるよう15mm以上斜めに盛る。
- ・アウターベアリングが嵌合する部分に2mm以上盛る

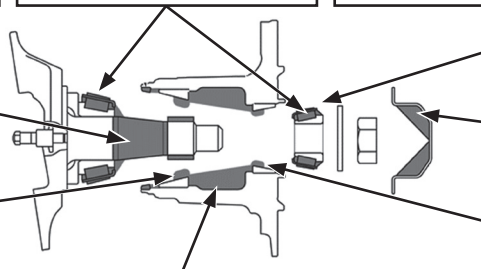


コロ間に隙間なく端部が
隠れるまで充てんする

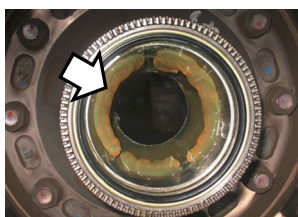


コロが隠れるまで充てん
する

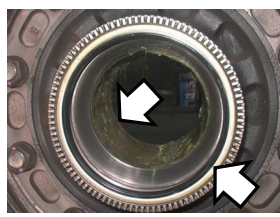
■ グリース
充てん箇所



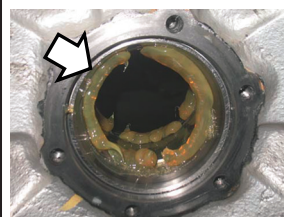
ハブキャップ内に充滿
するように充てんし、
写真のように円錐状に
整える



ベアリングレースの小径側
のレース幅半分の高さ
10mm 程度盛る



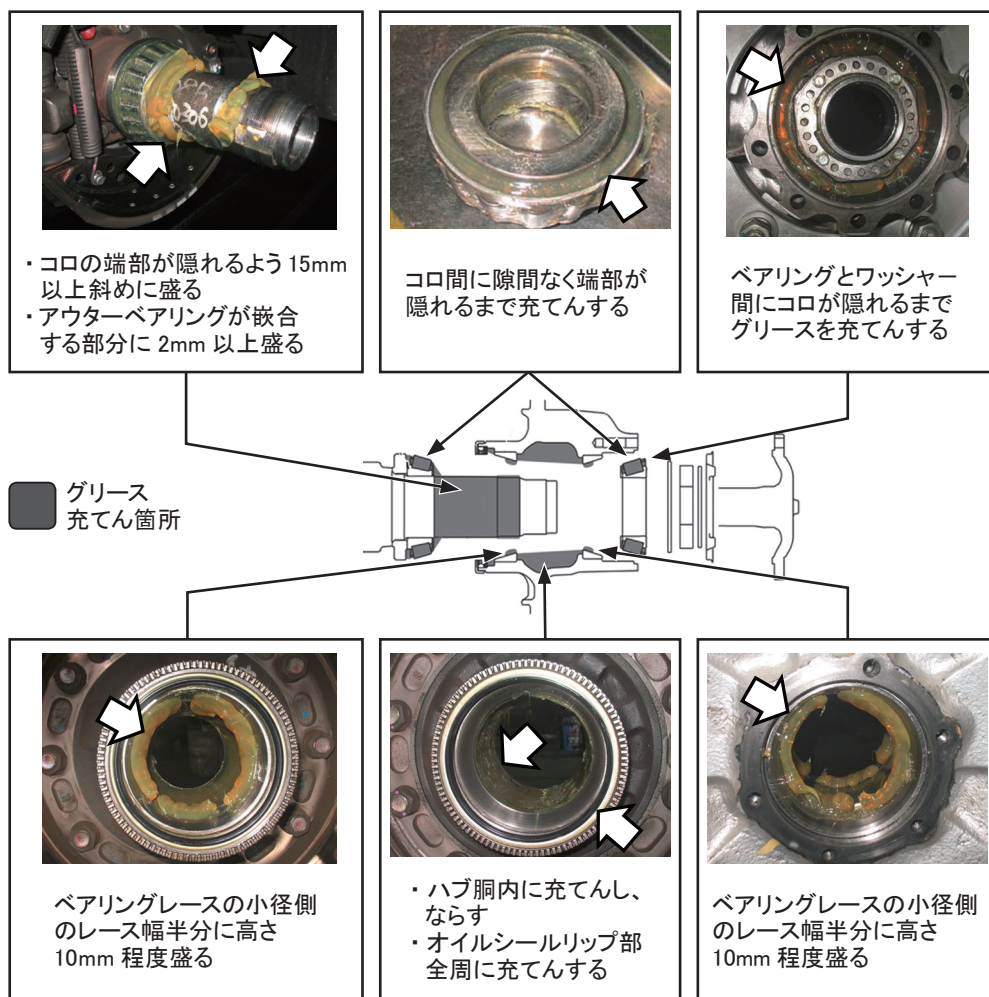
- ・ ハブ胴内に充てんし、
ならす
- ・ オイルシールリップ部
全周に充てんする



ベアリングレースの小径側
のレース幅半分の高さ
10mm 程度盛る

日野自動車

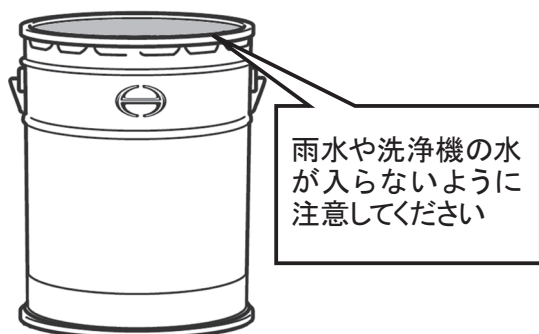
<リヤハブベアリング> 指定グリース：日野純正ブルーリボンベアリンググリース



■ 充てんグリースへの水付着の注意について

グリースの保管やハブベアリングの分解整備時にベアリングを仮置きする際は、雨水や洗浄機等の水が付着しない場所に避けてください。

◆グリース保管状態の注意



◆ベアリング仮置き時の注意

